



# 冬季中高生セミナー



# 誠を尽くす人になろう!

吉田松陰先生の言葉を刻む



生誕地に立つ吉田松陰像。右は弟子の金子重輔。

なぜ人は「勉強」しなければならないのだろう…。受験のための勉強なんてつまらない、やりたくない…。

こんな気持ちを抱いたことが一度はあるのではないのでしょうか。何のために勉強するのか、その答えのヒントが、歴史の偉人の生き方・言葉の中にあります。中高生の皆さん、一緒に夢や志を見つめていきませんか。

<セミナーでは…>  
○自分に自信を持って、力強く生きるための座右の言葉を発見します!  
○人生を、夢を、語り合える本当の仲間に出会えます!

日時:12月22日(日)~23日(月・祝)

開 会:13:00(集合…12:00) ※昼食持参

講 師:寺井一郎先生(徳塾「修身館」主宰)

会場・宿泊:火の山ユースホテル(山口県下関市みもすそ川町3-47)

参加費:9,000円(会員割引:8,000円)

### ◆昨年の参加者の感想より◆

松陰先生は、自分のためではなく国のためを思い、人生の三十年という短い間を危険をおかし続けながらがんばっていました。私は今だからこそ人のために何かやるということができるようにしていきたいと強く感じました。

(中学一年・女子)



昨年のセミナーにて



ふりがな \_\_\_\_\_ 申し込み用紙

氏名 \_\_\_\_\_ 性別 男・女 生年月日 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生 血液型 \_\_\_\_\_ 型

学校名 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

ふりがな \_\_\_\_\_

保護者氏名 \_\_\_\_\_ 緊急連絡先 \_\_\_\_\_

申込み締切:12/10(火) まほろば教育事業団 FAX 03-6912-1720

ご記入いただいた個人情報は当セミナーのご案内、主催団体からの各種ご案内以外には使用いたしません。また第三者に提供することは一切ありません。

# 言葉のパワーで、輝く自分を発見しよう

特別講師

寺井一郎  
先生



昨年のセミナーにて講話をされる寺井先生

## 冬季中高生セミナーの主な内容

### ①吉田松陰先生の言葉にふれる

松陰は志士であり、学者であり、教育者であり、人柄は謙虚で心やさしく何よりも至誠(まごころ)の人でした。

僅か三十年の短い生涯でしたが、松陰先生の教えを受けた人々の中から伊藤・山縣など後の総理大臣をはじめ多くのすぐれた人物が育ちましたし、勤王の大義のために命を捧げた人も少なくありません。(まほろばシリーズ「吉田松陰」まえがきより)セミナーでは、松陰先生の言葉をみんなで声を合わせて元気に朗読し、心に刻んでいくと同時に、先生方による歴史劇を通じて、松陰先生のご生涯に迫ります。



### 【講師紹介】

昭和34年埼玉県生まれ。昭和57年明治学院大学卒業。熊本の子童福祉施設にて児童指導員、主任指導員、家庭支援専門相談員を務める。平成8年より理事として、平成20年より副園長として従事。施設内では寺子屋を主宰し、小学生から中学生の児童へ毎晩朗読指導を通して児童の健全育成に努める。発達障害を持つ多くの児童も一斉授業の中で元気に育つ。平成24年より徳塾「修身館」を主宰。ご先祖様や先人の方々への感謝とご供養を込めて一文字一文字、心を込めて朗読し、続けるうちに自らの魂に灯がともるとの信念のもと、朗読の指導にあたられている。魂のこもった講話をうけた生徒たちは目を輝かせながら、言葉を胸に刻んでいる。著書に修身教育朗読読本「人を点醒す」(文芸社)

### ②天長節一天皇陛下のお誕生日をことほぎ、感謝の誠を捧げよう

#### i 赤間神宮

文治元年(1185年)、源平最後の合戦において、御歳わずか8歳をもって壇ノ浦に崩じ給われた安徳天皇をおまつりした神社。文久3年(1863年)には奇兵隊の陣所となった。セミナーでは安徳天皇御陵の清掃奉仕を行います。



#### ii 天長節祭

天長節とは天皇陛下のお誕生日のことです。常に国民一人一人の幸せを祈られる天皇陛下への感謝の心で、赤間神宮の天長節祭に参列します。神楽「浦安の舞」奉納や官司さまの記念講話を聴き、紅白まんじゅうをいただきます。

### ③立志式

松陰先生は「志を立てて以て万事の源となす」と元服を迎える甥におっしゃられました。2日間の研修で心に残った言葉を色紙に清書し、新年を迎えるにあたっての志を発表します。

今日よりぞ幼心を打ち捨てて  
人と成りにし道を踏めかし

【吉田松陰先生の言葉】

寺井先生の講話で、「学ぶことは公のためにつくす自分をつくるためである」という言葉に感動しました。日々一体何のために自分は勉強、学んでいるのか...という疑問がその言葉で一気に晴れて、ああ...普段意味がないと思った勉強も自分を育てる、心を成長させるという意味もあつたのかと分かりました。

(中学三年 男子)

◆寺井先生の講話をつけた参加者の感想◆

### <冬季中高生セミナー参加要項>

集合：12/22(日) 12時

解散：12/23(月) 14時頃

交通：①JR下関駅→バス1番乗り場より「国民宿舎行き」にて15分、火の山ロープウェイ 下車 徒歩1分

②バス1番乗り場のバス、みもすそ川 下車 徒歩8分

対象：中学生・高校生

定員：30名

参加費：9,000円

※保護者が本会会員の場合、8,000円

(宿泊・食費、資料・研修費、保険費込み)

申込み：FAX、郵送、メールで受け付けております。

申込み期限：12/10(火)

※定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込み下さい。

振込先：郵便振替 00100-7-333669

／まほろば教育事業団

※お申込みの方には持ち物・交通・プログラムなど詳しい案内をお送りします。

<お問い合わせ・お申し込み>

NPO 法人

まほろば教育事業団

〒150-0047

東京都渋谷区神山町 24-11-202

TEL 03-3485-6554

FAX 03-6912-1720

http://www.mahoroba-ed.org

Email info@mahoroba-ed.org

